

| 順序 | 発 言 者 | | 答弁を求める者 | |
|----|-----------|-----------|---------|-------|
| | 氏 名 | 会 派 名 | 市 長 | 教 育 長 |
| 4 | 大 園 た つ や | 日 本 共 産 党 | 関 係 局 長 | |
| | | | | |

発言の要旨

| |
|---|
| <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1)「武器輸出全面解禁」とする「防衛装備移転三原則」とその「運用指針」の改定に対する見解</p> <p>(2)国旗損壊罪に対する見解</p> <p>2 物価高騰対策の進捗と今後の資材不足等への対応について</p> <p>(1)金融経済概況における本市の現状と推移（令和8年1月から）</p> <p>(2)物価高騰対策の進捗について</p> <p>①物価高騰対策給付事業（お買い物応援ギフトカード）について</p> <p>ア．対象件数・金額と配付済みの件数と金額及び割合</p> <p>イ．問合せの件数と特徴的な声</p> <p>ウ．配付体制とトラブルの有無</p> <p>エ．配付に時間がかかっている原因と地域経済への影響</p> <p>オ．利用期限内に配付完了できない場合の対応</p> <p>カ．今回の事業における課題</p> <p>②プレミアム付商品券等発行支援事業補助金について</p> <p>ア．現時点での実施団体数及び構成団体数とこれまでとの比較</p> <p>イ．プレミアム率の設定や販売の状況</p> <p>ウ．同商品券が発行されていない地域への具体的な対応</p> <p>③省エネルギー家電製品等購入補助事業について</p> <p>ア．現時点での補助の現状</p> <p>イ．補助制限でのトラブルの有無</p> <p>ウ．追加補正の考え方</p> <p>(3)イラン攻撃とホルムズ海峡の事実上の封鎖による本市への影響と対応について</p> <p>①市域及び行政の資材不足の現状と見通し</p> <p>②国の補正予算の内容と本市の対応</p> <p>③医療、食料、交通・物流、建設など市民生活に欠かせない分野での調達を確保するための考え方と取組</p> <p>3 スタジアム候補地調査業務の結果と今後の考え方について</p> <p>(1)調査業務の目的と基本的な考え方</p> <p>(2)調査業務でのスタジアムの「席数」や「複合施設」の考え方</p> <p>(3)概算整備費について</p> <p>①それぞれの概算整備費と内訳</p> <p>②現時点での比較の結果</p> <p>③今後計上される可能性のある経費の考え方</p> <p>④県や民間との負担の在り方についての考え方</p> |
|---|

- (4) 複合施設が確保できる面積か。認識
- (5) 時間軸について
 - ① それぞれの時間軸と比較結果
 - ② 今後想定される懸念事項
- (6) 調査の結果、両敷地が候補地となり得たのか。また、どちらかの敷地を候補地に決定するのか
- (7) 緊迫した国際情勢に伴う資材不足や物価高騰、厳しさを増す本市財政を踏まえて、スタジアム建設は断念すべきでは。市長の見解

4 子ども見守り強化事業について

- (1) 令和8年度予算額と実施団体数、対象世帯人数の見込み
- (2) 新しい取組と目的
- (3) 実施団体数、対象世帯数の8年1月からの推移（終了・新規）
- (4) サポートプランの作成と実施団体との共有による効果
- (5) 半年ごとの支援の見直しは、縮小・終了を前提とするものか。見解
- (6) 実施団体とのさらなる連携についての見解

5 小学校給食費負担軽減事業について

- (1) 4・5月分が通常どおりの請求となった実態と理由
- (2) 交付要綱の決定までの経過と主な内容
- (3) 残されている課題
- (4) 実際の自己負担額（センター方式・自校方式）
- (5) 通常どおりの支払いとなった4・5月分の取扱いを含めた今後の負担軽減

6 都市計画税と下水道受益者負担金の二重負担について

- (1) 二重負担についての論点の整理
- (2) 根拠となる判例
- (3) 本市の下水道事業受益者負担金について
 - ① 対象者
 - ② 単価と推移
 - ③ 納付方法と回数
- (4) 土地区画整理事業での取扱いと進め方